

京奈和自動車道の整備促進

平成28年7月

【担当省庁】国土交通省

国にお願いすること

■ 大和御所道路・大和北道路におけるミッシングリンクの早期解消

① 大和御所道路

- ・ 橿原北IC～橿原高田ICの**工事促進**、県の地方創生実現のため**早期供用**
- ・ 完成までの間、国、県が一体となり継続的な一般部の渋滞緩和対策の実施

② 大和北道路

- ・ (仮称)奈良IC～郡山下ツ道JCTの用地国債を活用した**用地促進**
- ・ 県、市による(仮称)奈良IC周辺でのJR新駅設置等の**まちづくりと一体となった供用**

③ 一般部

- ・ (一)天理斑鳩線～(主)天理王寺線間の早期整備

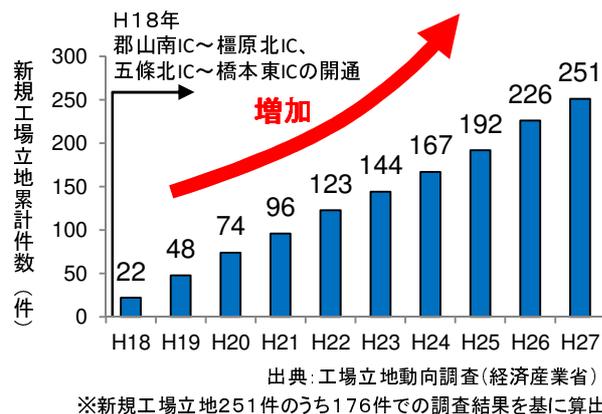
【地方創生に向けた取り組み】

○奈良県地方創生総合戦略 基本目標:「働いて良し」

脱ベッドタウンを図り、仕事の場を奈良でつくるため、「企業誘致」などに取り組む



京奈和自動車道 初の開通から10年、
新規企業立地 累計251件 年間20件以上を維持
新規工場立地に伴い2,431人の雇用を確保 ※



工業ゾーン創出プロジェクト



京奈和自動車道、西名阪自動車道周辺で
新たな産業用地の確保に向けたプロジェ
クトを推進

知事による トップセールス



本県の企業立地環境や新規事業展開への
支援策を説明
企業誘致や投資対象としての奈良の魅力
をアピール

● 平成28年度 大和御所道路橿原北IC～橿原高田IC間の工事着手



〈平成35年のネットワーク想定図〉

ミッシングリンク解消の目処が立たない状況が続けば、企業の新規立地の停滞が懸念



橿原北IC～橿原高田IC間の用地進捗率: 92%

用地促進への県の協力体制

未買収となっている用地については、国、県、沿線市と連携して買収に取り組む